

ネイチャー・ウォーク

平成 29 年 7 月号
2017. 7. 23 発行
(通巻第 283 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

トトロの森をたずねて

(西武池袋線 小手指駅～西武バス停 荻原停留所)



8名の参加者が集まりました

大学のキャンパス内は、日曜日ということもあって、人も少なめ。

緑豊かなキャンパス内では、コゲラが見つかるなどの発見がありました。



関東も梅雨に突入し、じめじめした日が続きます。

今回のネイチャーウォークは曇り空で、参加者は8名といつもに比べるとやや控えめ。

でも、歩くことを考えると、暑すぎもせず、ちょうど良い天候となりました。

今回は、小手指駅から、バスに乗って早稲田大学所沢キャンパスに向かいます。



大学のキャンパス内を抜けます

←コゲラを発見。声はすれども、小さな姿のため、なかなか見つけることができず。
みんなで一生懸命探しました。



トトロの森に到着



地面にはカンアオイが生えていました

早稲田大学所沢キャンパスを抜けてしばらく歩くと、トトロの森のトラスト地に到着。林内にはひもで囲われた植物があり、注目を集めていました。生えていたのはカンアオイ。人里近い里山に生えるカンアオイは、近年、大きく数を減らしているとのこと。貴重な日本の里山の植物をいつまでも守っていきたいですね。

一方、道中では、道路のアスファルトにも負けずに生えるアカメガシワの姿も。アスファルトの下から生えて、大きな木となっているその姿に、驚きの声もあがっていました。



アスファルトにも負けられないアカメガシワ



ヤブカンゾウ。根は薬にも用いられます

また、ヤブカンゾウやナワシロイチゴなども見つけました。

ヤブカンゾウについては、若葉を食べることができるとの話題で盛り上がりました。おひたしにして食べるそうですが、どんな味がるのでしょうか？

ナワシロイチゴは、美味しそうに赤く熟した実を味見する人もいました。



赤く熟したナワシロイチゴ。思わず一口？



警備員の案山子

八幡神社に向かう道中では、いろいろなモニュメントを発見。

特に、体がブルーシートで作られた警備員を模した案山子や、貝殻を使って昆虫やタカの姿を形づくった作品たちに、非常に素晴らしい出来であると、感嘆の声があがっていました。

さらに、八幡神社の駐車場には、大きなトロのモニュメントがありました。

非常に大きな姿に思わずびっくりです。



とにかく大きい原寸大？トロ

さて、八幡神社を超えると、目的地のさいたま緑の森の博物館に到着。さいたま緑の森博物館は里山の景観そのものを野外展示し、貴重な生き物を守る取り組みを行っています。

博物館のスタッフの方より、ヒメザゼンソウやオオバジャノヒゲについて教えていただきました。本当にありがとうございます。

特にヒメザゼンソウについては、小さくて非常に見つけにくかったこともあり、実際に見つけてみると、その小さくて可憐な姿に、注目が集まりました。

今回は曇り空が続きましたが、幸いにも雨は降らず、無事終了することができました。



緑の森の博物館に到着



ヒメザゼンソウの可憐な姿



オオバジャノヒゲの花